

## お知らせ

新たなスマホ決済が追加に！

水道料金などの納付

上下水道お客様センター

☎②7921

導入時期 4月1日(月)

新たに利用可能になる決済

Family Pay、楽天ペイ

※現在利用可能な決済はLINE Pay、PayPay、au PAY、J-Coin Pay、d払いです。

## 戸籍証明書の取得

市民課・☎②2252

市外に本籍地がある方が、戸籍謄本などを取得できるようになります。

開始時期 3月1日(金)から

申請できる方 本人または配偶者、父母や子などの直系の親族

申請できる場所

▽市民課(本庁舎1階)

▽行政サービスセンター

※行政サービスセンターは市内

に住居登録がある方に限り、戸籍全部事項証明書のみ発行でき

ます。

※各公民館では申請できません。

※国のシステムメンテナンス実施日(第1・3の土・日曜日など)

は取得できません。

持ち物 マイナンバーカード、

運転免許証などの顔写真付き身分証明書

分証明書

※詳細は市ホームページでご確認ください。

市路線バスのダイヤを一部改正

## 市路線バスの

## ダイヤを一部改正

市民生活課・☎②2186

鉄道のダイヤやバス運転手の労働時間に関わる『自動車運転者の労働時間等の改善のための基準』の改正を踏まえ、運行ダイヤを改正します。

改正日 4月1日(月)

主な変更点

▽小俣線、行道線

⇨平日運行便の12時・13時台

の一部の便で運行時刻を変更

▽小俣線、松田線、行道線、富

田線

⇨下り最終便の一部の停留所

間で降車専用区間を設定

時刻表

地域計画地区座談会

## 地域計画地区座談会

農政課・☎②2160

これからの地域の農業をどのように維持・発展させていくか、地域計画を作るための話し合いを行います。

※詳細は市ホームページでご確認ください。

※時刻表は3月下旬頃、市路線バス車内や各公民館で配布予定です。

日時

▽3月18日(月)⇨北郷公民館

▽3月22日(金)⇨山前公民館

▽3月26日(火)⇨筑波公民館

▽4月9日(火)⇨毛野公民館

▽4月16日(火)⇨富田公民館

▽4月23日(火)⇨三和公民館

▽4月26日(金)⇨小俣公民館

※原則午後6時30分～8時、4

月23日(火)は午前10時～11時30分

対象 農業者、農地所有者、農業に興味のある方

～火を消して 不安を消してつなぐ未来～

## 春の火災予防運動

予防課

☎④3198

3月1日(金)▶7日(休)

—3月1日(金)正午から15秒間サイレンを鳴らします—



いのちを守る

10のポイント

- 1 寝たばこはやめる
- 2 ストーブは燃えやすいものから離して使う
- 3 こんろなどから離れるときは必ず火を消す
- 4 コンセントを清掃し、不要なプラグは抜く
- 5 安全装置付き機器を使う
- 6 住宅用火災警報器を定期的に点検する
- 7 寝具や衣類、カーテンには防災品を使用する
- 8 住宅用消火器を設置
- 9 高齢者などを守るため避難経路・方法を確保
- 10 防火防災訓練へ参加



家財を守る

7のポイント

- 1 ごみは収集日の朝に出す
- 2 家の周りに燃えやすいものを置かない
- 3 物置などには必ず鍵を
- 4 家の周りを明るくする
- 5 路上駐車をしない
- 6 洗濯物の取り込みを忘れない
- 7 隣近所とのあいさつを

# 温故知新 30

## 財源確保の必要性

早川 尚秀

6年度予算について、現在開会中の市議会定例会において活発にご議論いただいています。

増加し続ける医療福祉関係経費や老朽化した公共施設の更新・整備費、デジタル化への対応や燃料価格の高騰対策など、財政需要は膨らんでいます。これらの財源確保のためには、歳入の増加につながる取り組みが必要不可欠です。

日本経済新聞による全国自治体の4年度決算によると、4年度税収が最大だった自治体上位には東京23区や主要な指定都市が入り、その他上位に入った地方都市は、企業の立地や設備投資による『固定資産税収』の増加が大きく影響しているとのこと。

地方自治体の税収は、法人住

民税と固定資産税で全体の5割近くを占めることから、市を挙げて産業振興に取り組む必要があると言えます。

そこで、現在造成中の『あがた駅北産業団地』に続き、久保田町地内に新たな産業団地造成を目指し、昨年10月に知事に要望、翌11月には栃木県企業局が基礎調査に着手しました。地元の方々のご理解をいただきながら、早期完成を目指します。

また、自治体の一人当たり借金残高については、東京都千代田区の『0円』を筆頭に東京都の『区』が、少ないほうから上位を独占しています。東京のような大都市と地方都市との格差を是正していくために、きちんとした再分配の仕組み作りや、産業の国内回帰と地方移転を促進するような規制緩和および支援策を、国において実行してほしいと思っています。

同時に、地方都市が自力で自主財源を確保していく努力も必要です。例えば、『ふるさと納税』制度への評価は賛否あります

が、市長会の場合には「地方都市が大都市と戦える初めての制度だ」という意見も多くあります。本市でもこの制度に積極的に取り組んでおり、5年度11月までの寄付総額は前年度比約1.6倍、返礼品を伴う寄付額は約2.3倍と増加しました。本市の歳入増加に加え、参画いただいている地元事業者の売り上げ増にもつながり、大変ありがたいと思っています。加えて、体験型の返礼品にも力を入れ、足利に足を運んでもらう工夫も強化しています。

歳入の増加とコストの見直しによる財源確保に注力しながら、各事業を積極的に展開できる予算を編成していきます。



足利市ふるさと納税

市ふるさと納税  
(ふるさと足利応援寄附金)  
について詳細はこちら▶



申し込み方法が  
『オンライン申請システム』  
のものはこちらから!



### ●利用方法

①二次元コードを  
スマホで読み取る

②『申請できる手続き一覧』から  
対象の手続き名を検索

●X (旧Twitter)



●ホーム  
ページ



●LINE



●アプリ  
『マチイロ』



市の情報  
発信中!



広報紙がスマホで  
読めるアプリです

※本紙掲載のイベントなどに参加の際は、各施設、主催者などが示す感染症対策にご協力をお願いします。